



万亭應賀作

第六號

Gōkan: (- 012)
Shaka Hassō.
Part. 2 Book 11B-20

錦

上

~ 13
3749
6



門 へ 13
3749
6
陽齋豊國画
標

亭應賀作

陽齋豊國画

釋迦八相

倭文庫上帙

嘉永二年己酉春新板



門人
因改画

元大坂町代地上州屋重藏版

一

釋迦八相倭文庫拾壹編之叙
夫經も唄もはらへば則唄も唄も又經も續も則唄も
此冊紙の巻々も大乘妙典と看時ち
佛浄土の道ある茲とて邪正一如卯月八日天上天下
指ぬ世普すの成姿左のお手ハ郭公と云身形右のれ
言ハ提婆女と云の公戲と云て耶輸陀羅女が息及艱
勞を倭育の女氣質ふと云擬へ奉公と云身の
人情を述る而已

嘉永二年己酉の春

万亭應賀誌



阿羅漢
仙人

神童子



舎人
車

悉達太子
檀持山
阿羅漢仙人
寶冠衣服
王宮
遺物
車

跋伽
仙人



悉達太子

名文直十一

悉達太子密小迦毘羅城と
立出あり跡を王宮騷動
三女及び宮守の武官官女の
輩鞠問ふある于時周昭王
四十四年二月八日
日本ハ鷓鴣草昔
不合尊庚寅
の日不當る

優陀夷



耶輸陀羅女

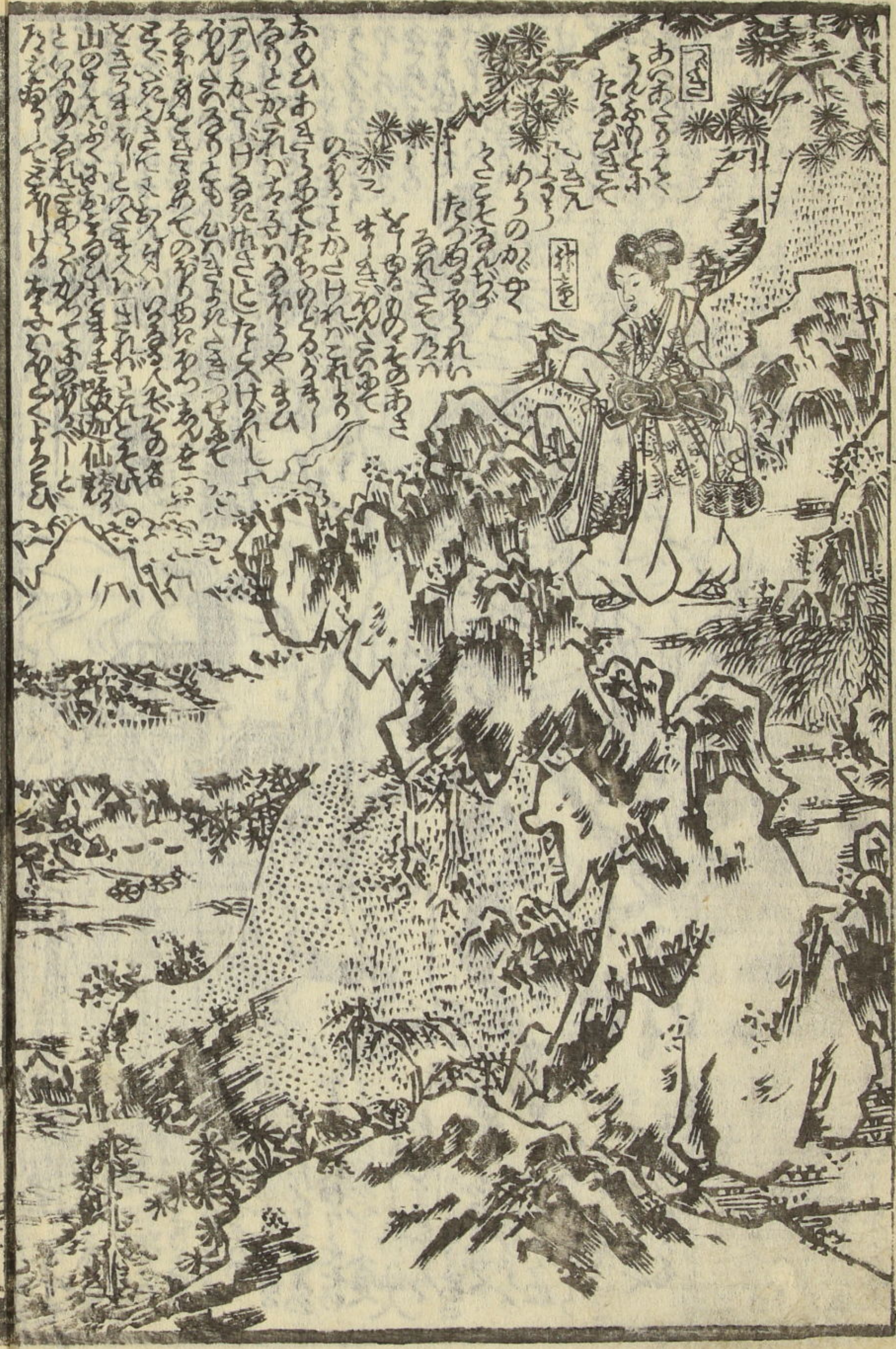
老女
南花

野鹿
女



明佳陀
女

車
匿
女
房



あつちの
うんちの
たふし
あつちの
うんちの
たふし
あつちの
うんちの
たふし



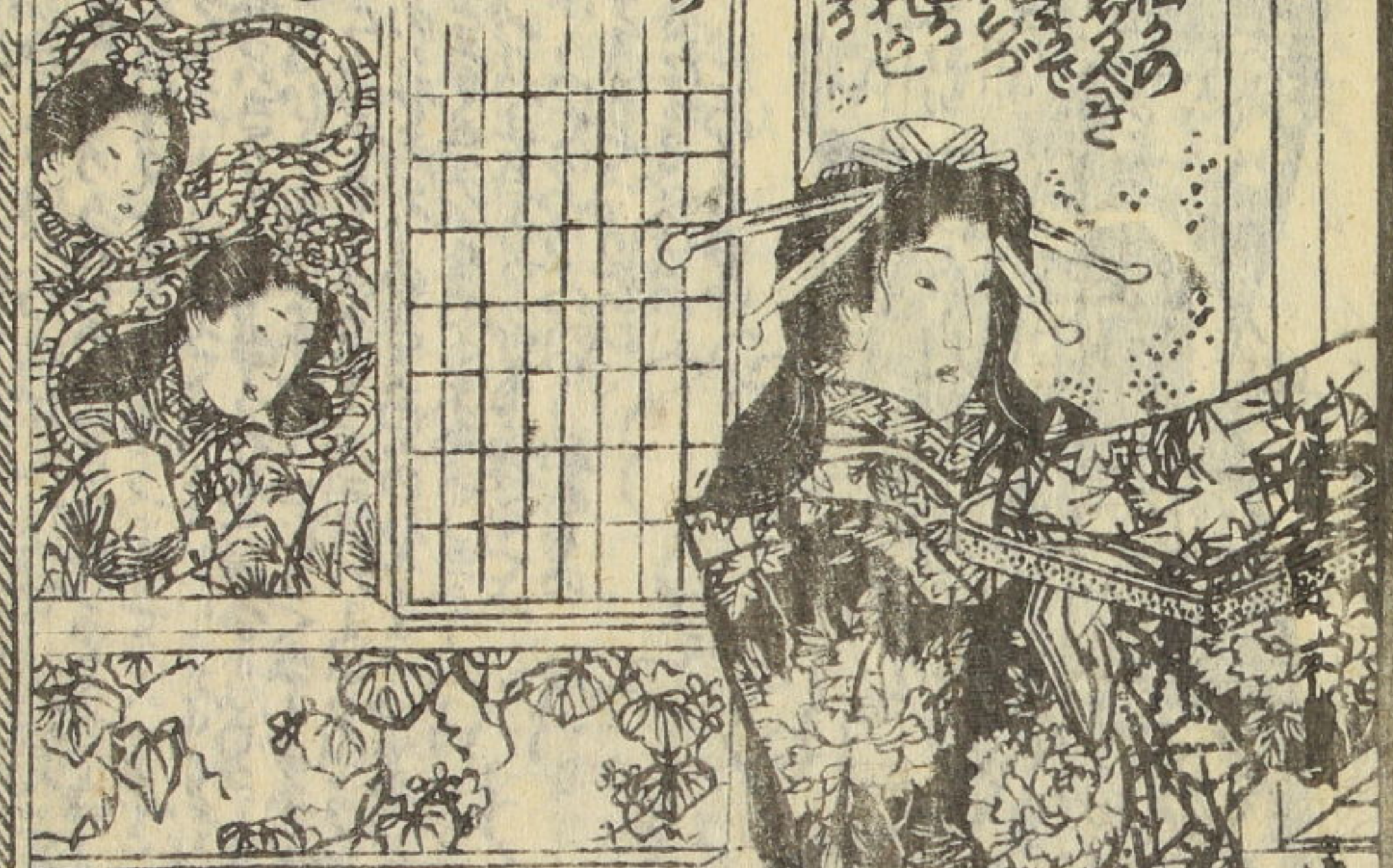
あつちの
うんちの
たふし
あつちの
うんちの
たふし
あつちの
うんちの
たふし

あつちの
うんちの
たふし
あつちの
うんちの
たふし

蓮花
あつちの
うんちの
たふし

此本の仙居仙人の事... 仙居天竺の事... 仙人の事... 仙人の事... 仙人の事...

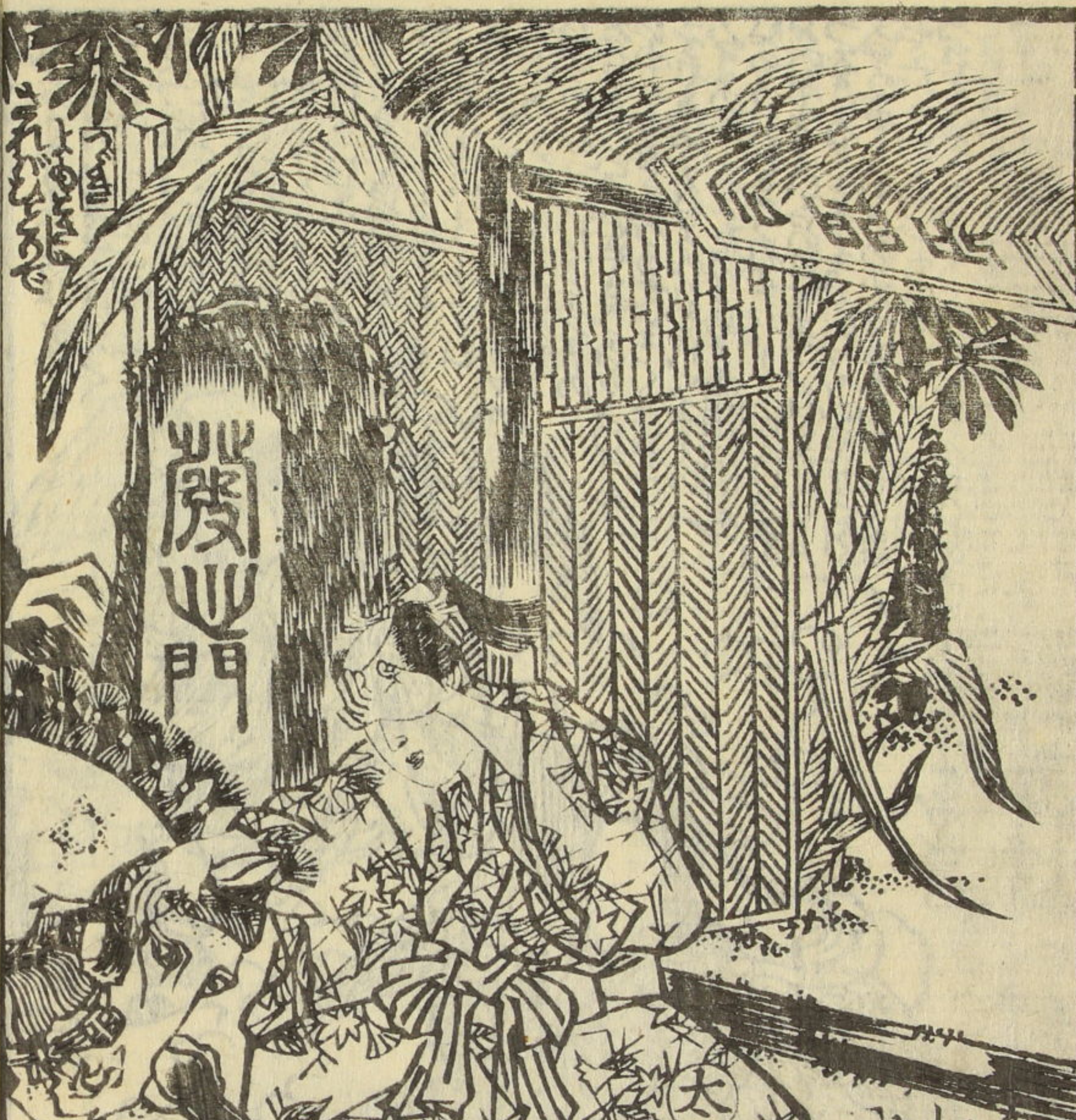
仙居天竺の事... 仙人の事... 仙人の事... 仙人の事... 仙人の事...



仙居天竺の事... 仙人の事... 仙人の事... 仙人の事... 仙人の事...

仙居天竺の事... 仙人の事... 仙人の事... 仙人の事... 仙人の事...





○おきりのえんたけりみり
まごころまるといふれを
れんどののきりるも
しんもあられおきり
まのくいついふた子
いれをみりあられ
まごころまるといふれを
れんどののきりるも
しんもあられおきり
まのくいついふた子
いれをみりあられ

うらやまのいりて
うらやまのいりて
うらやまのいりて
うらやまのいりて
うらやまのいりて
うらやまのいりて
うらやまのいりて
うらやまのいりて
うらやまのいりて
うらやまのいりて

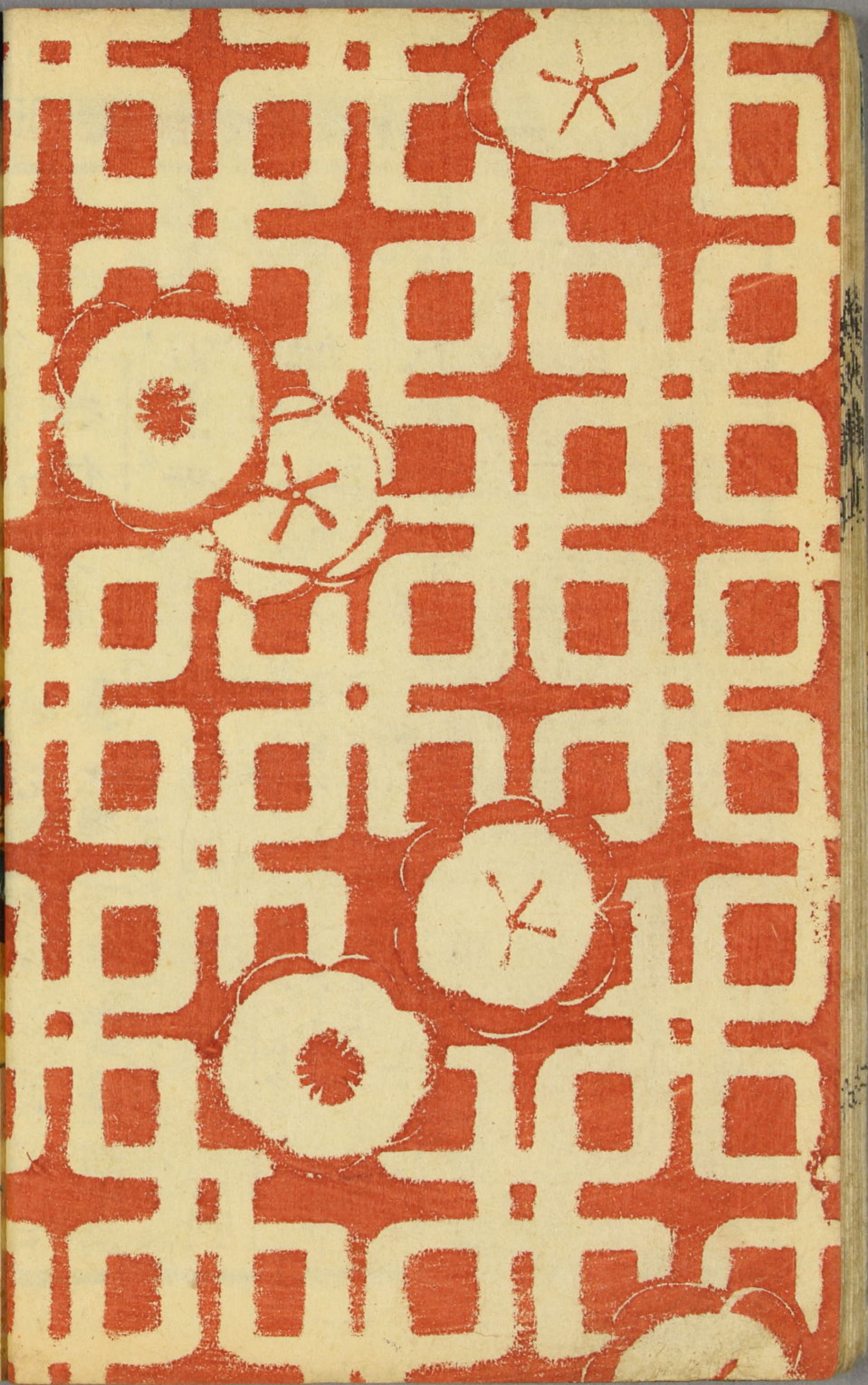


倭文庫十一編

一陽齋豊國画



下





妹文庫十一

十一

そのおも
 まはゆたか
 中世の
 大正の
 昭和の
 平成の
 令和の

倭子伝十編下

忠聖化
 奇國画

毎篇合本上下二冊

門人國政

乙酉壬子新刊

元大坂丁代地

上巻巻末







あつちの窓から
 春の光が射し
 花の匂が漂う
 ...

花の匂が漂う
 春の光が射し
 ...

あつちの窓から
 春の光が射し
 ...



あつちの窓から
 春の光が射し
 ...

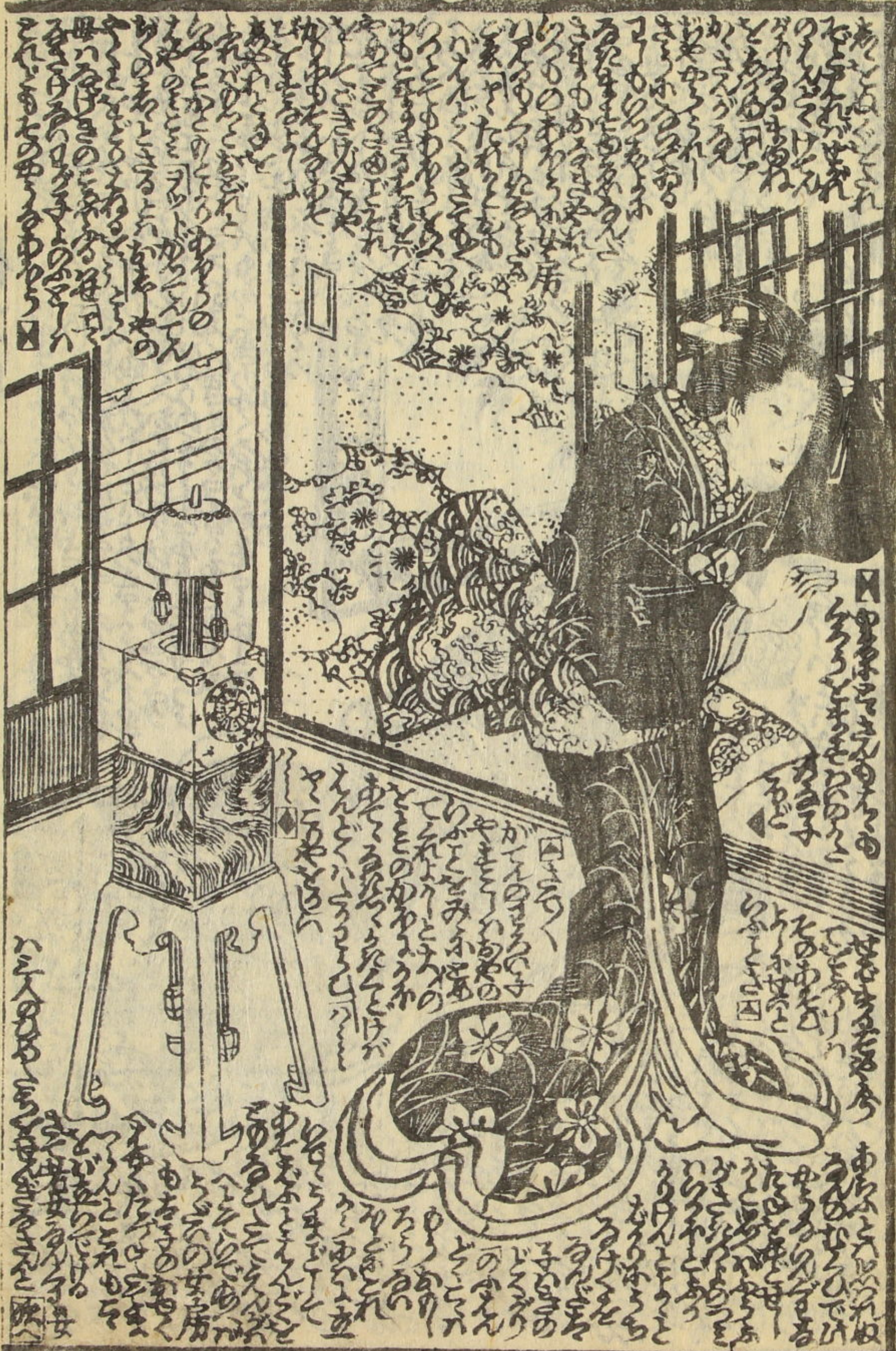
あつちの窓から
 春の光が射し
 ...

あつちの窓から
 春の光が射し
 ...



徳文庫

十一



木下町一

徳文庫

ついでにその内なるに...
これか...
あんなに...
かたは...
あんなに...
あんなに...

あんなに...
あんなに...
あんなに...
あんなに...
あんなに...
あんなに...
あんなに...
あんなに...

あんなに...

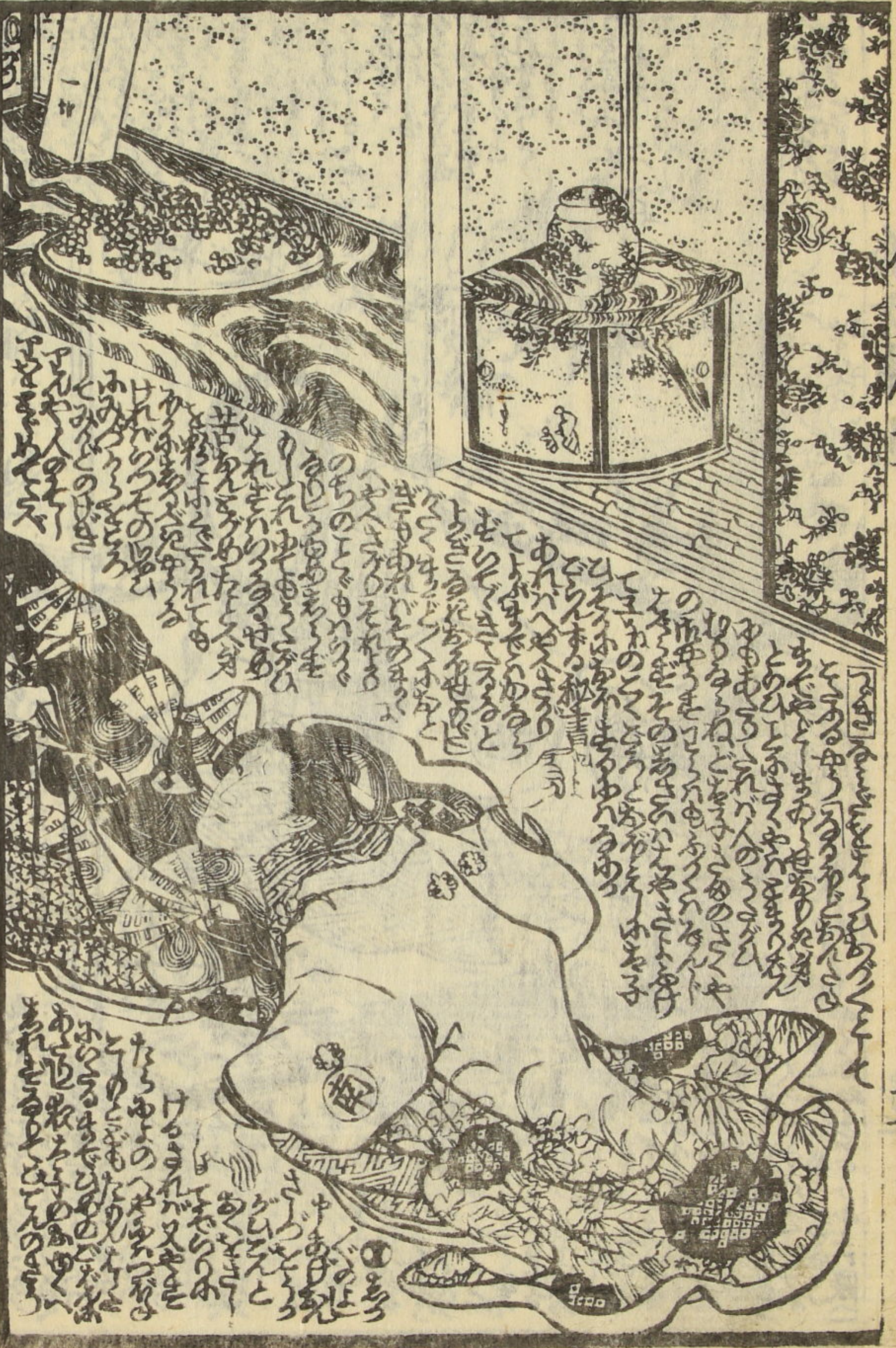
あんなに...
あんなに...
あんなに...
あんなに...
あんなに...
あんなに...
あんなに...
あんなに...

あんなに...



あんなに...
あんなに...
あんなに...
あんなに...
あんなに...
あんなに...
あんなに...
あんなに...

あんなに...
あんなに...
あんなに...
あんなに...
あんなに...
あんなに...
あんなに...
あんなに...

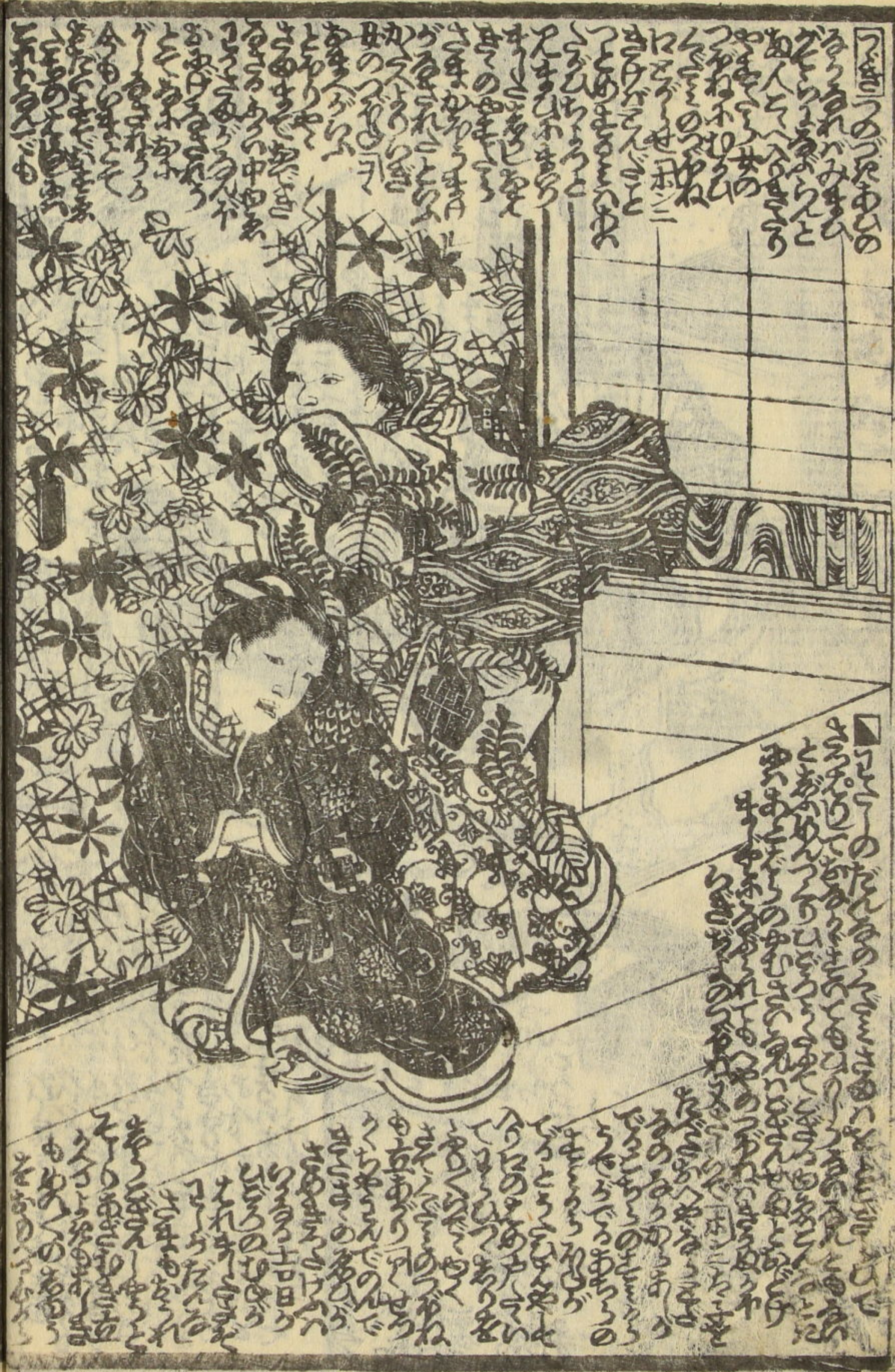


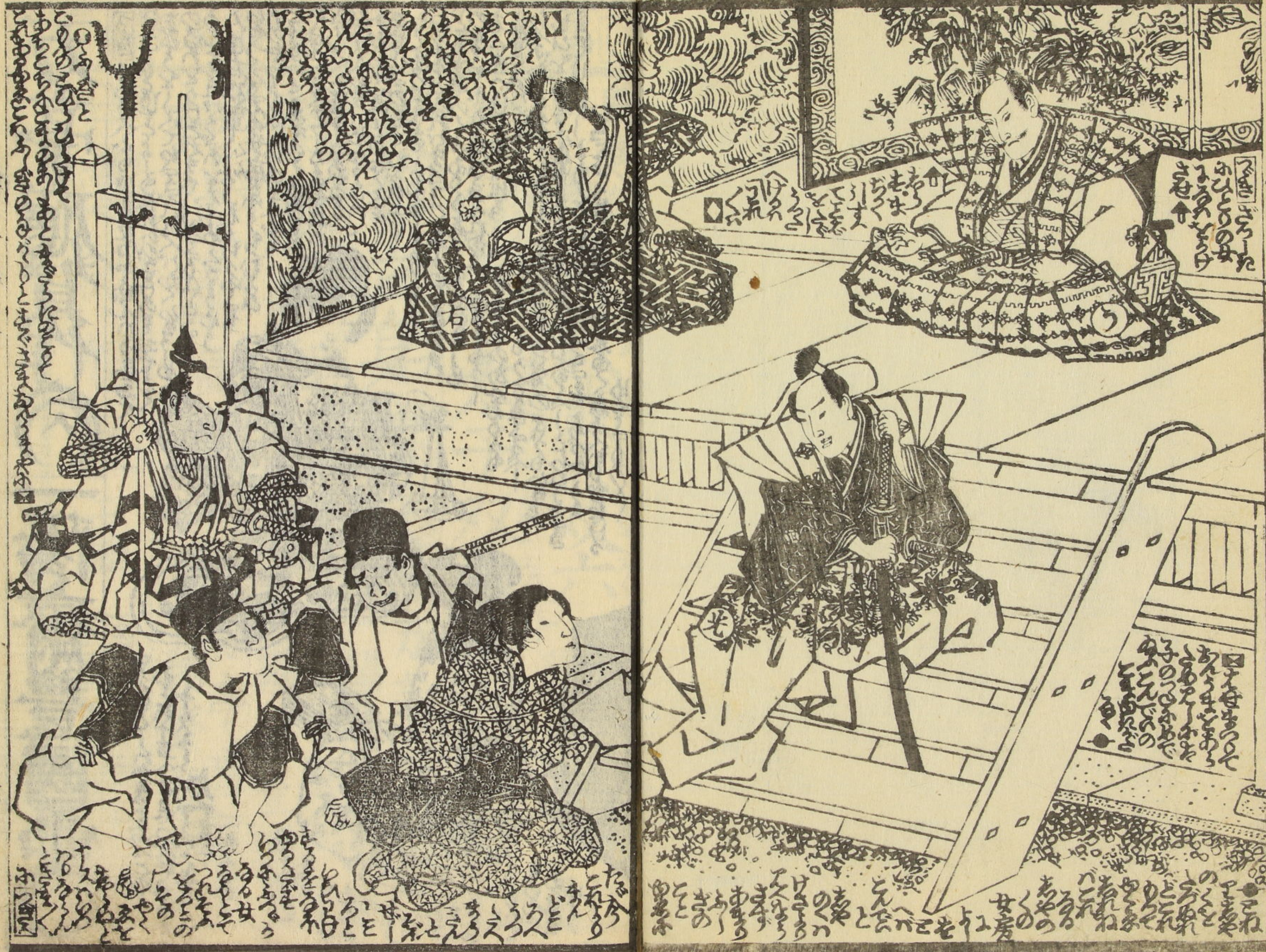
Vertical text on the left margin of the first page.

Vertical text on the right margin of the second page.

Large blocks of vertical Japanese text interspersed with the illustration on the left page.

Large blocks of vertical Japanese text interspersed with the illustration on the right page.





Vertical text on the left side of the upper section, likely a title or introductory text.

Vertical text on the left side of the upper section, continuing the narrative.

Vertical text on the right side of the upper section, continuing the narrative.

倭文庫

Vertical text on the left side of the lower section, continuing the narrative.

Vertical text on the right side of the lower section, continuing the narrative.

万亭應賀作の陽齋豊國画



嘉永四年辛亥春新板目錄

奥奉公 二編 娘一代成人 双六 万亭應賀作 陽齋豊國画

倭文庫 太子 双六 万亭應賀作 陽齋豊國画

武藝立身 館 双六 万亭應賀作 陽齋豊國画

奥奉公 出世 双六 万亭應賀作 陽齋豊國画

神代藻塩草 二編 万亭應賀作 陽齋豊國画

日蓮記 旭衣 二編 万亭應賀作 陽齋豊國画



倭文庫拾貳編



釋迦

巳酉ノ春

新板

倭文相

庫 十二編 上之卷

万亭應賀作 一陽齋豊國画

錦重堂梓



門人画

釋迦八相倭文庫拾二編の序

夫悉達太子静夜健陟の跡車匿と俱て恩愛の大阿と踰れば
帝釋及び四天王駒の前夜と圍繞して一夜のうち千二百余里を經
て檀持山の寶山嶺跋伽仙林小室の寶冠瓔珞等と車匿の渡り父
王送り御劔と拔て自髮を剃して仙家の草衣を着し一時帝
釋太子の髮を天上へ推して塔を建てて車匿の太子の姿を見てふく
健陟も悲鳴して了に別れて京師へ歸る八相のうち是と第四の出
家とのいはれ是等の經説の擬き編とほりて出ぬる時の附と
嵯峨の釋迦東都ありて用扉の折るるれいと急迫く例の
元を催促の使と待せて仮そのより書とかれかあるのあり

嘉永二年巳酉の春

万亭應賀誌





右將軍

舎人
車馬



右將軍
御人駕輿
丁御輿を昇せ

車馬を
案内して
檀香山
悉く
御子の
御仰ひ
奉る

檢非
違使



の 於
 優 夷
 美 夫
 轎 雲
 弥 御
 伯 了
 吟 味

優 夷
 美 夫
 轎 雲
 弥 御
 伯 了
 吟 味

提 波
 家 達
 伯 士
 雜 式
 取 弼



老 女
 南 花
 弥 雲
 轎 雲

優 夷
 美 夫
 轎 雲
 弥 御

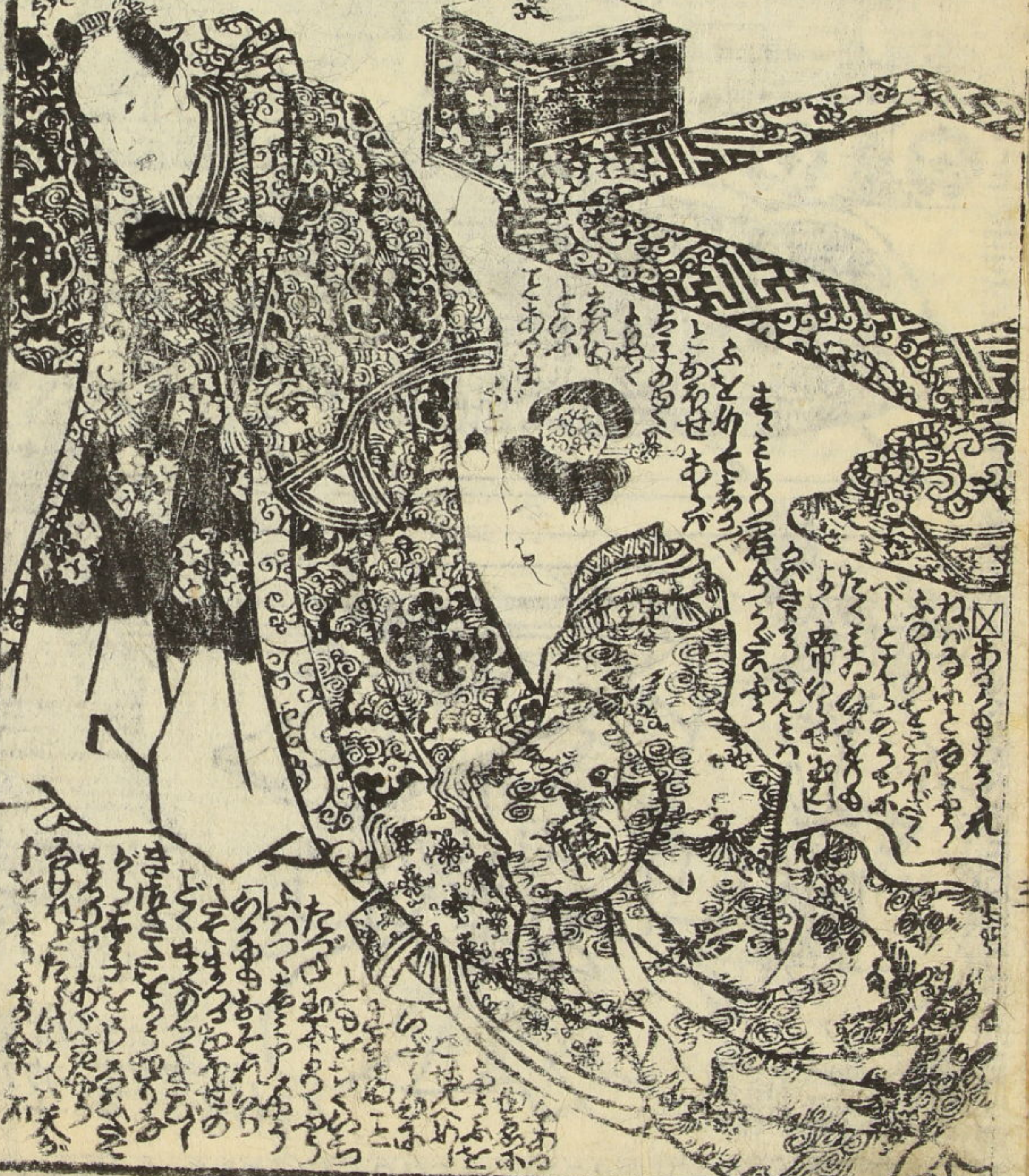
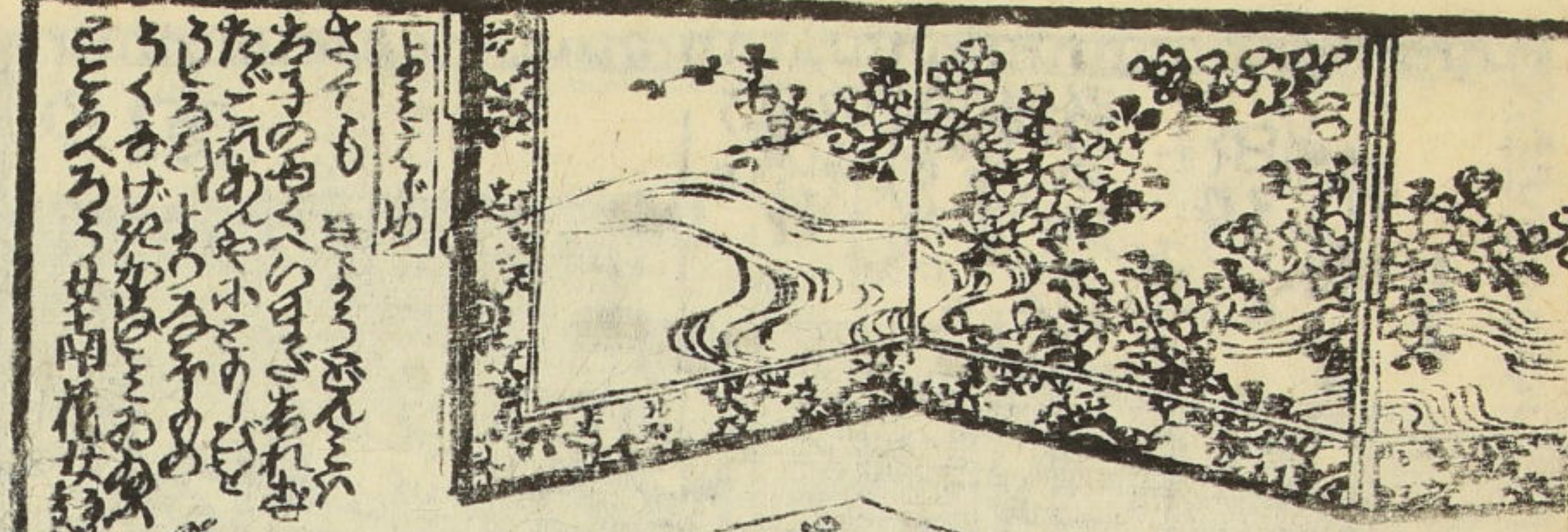
合 命

備 文 庫 七

是れは... (Vertical text columns on the top left of the left page)



... (Vertical text columns on the bottom left of the left page)



... (Vertical text columns at the bottom of the right page)





此の山は水のある所にて、
 山頂に松の樹が立ち、
 山麓には田舎の村あり、
 村の人は、山を好む者あり、
 山に登りて、松の葉を採りて、
 湯に煮て、飲む者あり、
 此の湯は、病を治すに、
 最もよく、山の人に、
 好まれる所なり、

此の山は、昔より、
 名高い所なり、
 山の人に、好まれる所なり、
 山に登りて、松の葉を採りて、
 湯に煮て、飲む者あり、
 此の湯は、病を治すに、
 最もよく、山の人に、
 好まれる所なり、



此の山は、昔より、
 名高い所なり、
 山の人に、好まれる所なり、
 山に登りて、松の葉を採りて、
 湯に煮て、飲む者あり、
 此の湯は、病を治すに、
 最もよく、山の人に、
 好まれる所なり、

此の山は、昔より、
 名高い所なり、
 山の人に、好まれる所なり、
 山に登りて、松の葉を採りて、
 湯に煮て、飲む者あり、
 此の湯は、病を治すに、
 最もよく、山の人に、
 好まれる所なり、

Vertical columns of handwritten Japanese text, likely a narrative or dialogue, positioned above the illustration on the right page.



Small vertical text block located below the illustration on the right page.

Vertical columns of handwritten Japanese text, likely a narrative or dialogue, positioned above the illustration on the left page.







Vertical text columns in the upper section of the right page, including a large arrow pointing upwards at the top left.

Vertical text columns in the lower section of the right page, surrounding the illustration of the woman and the child.



Vertical text columns in the upper section of the left page, including a large arrow pointing upwards at the top left.

Vertical text columns in the lower section of the left page, surrounding the illustration of the woman and the landscape scene.

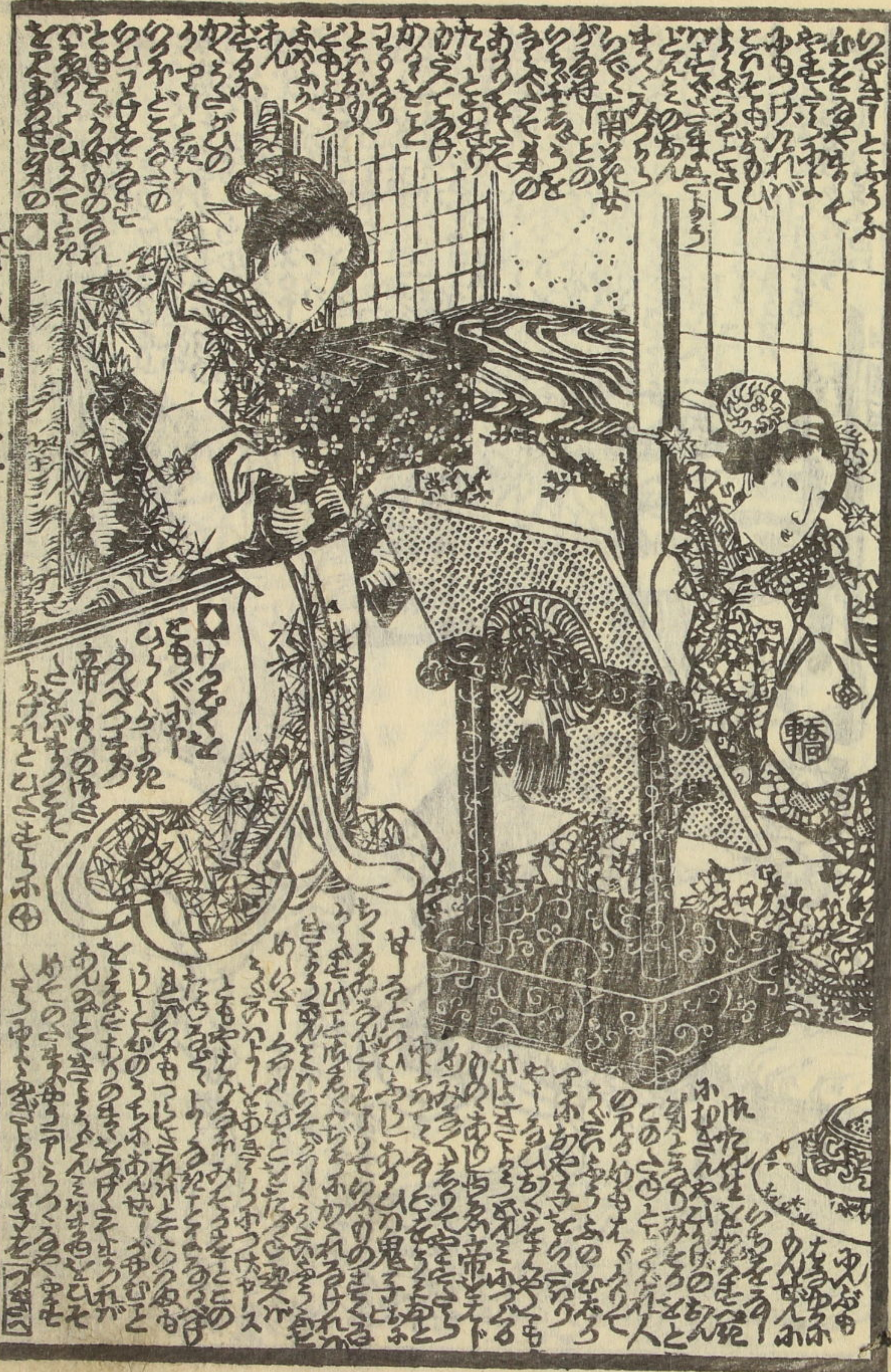
方亭應賀作
湯齋豊國画

嘉永二年
巳酉春
新彫



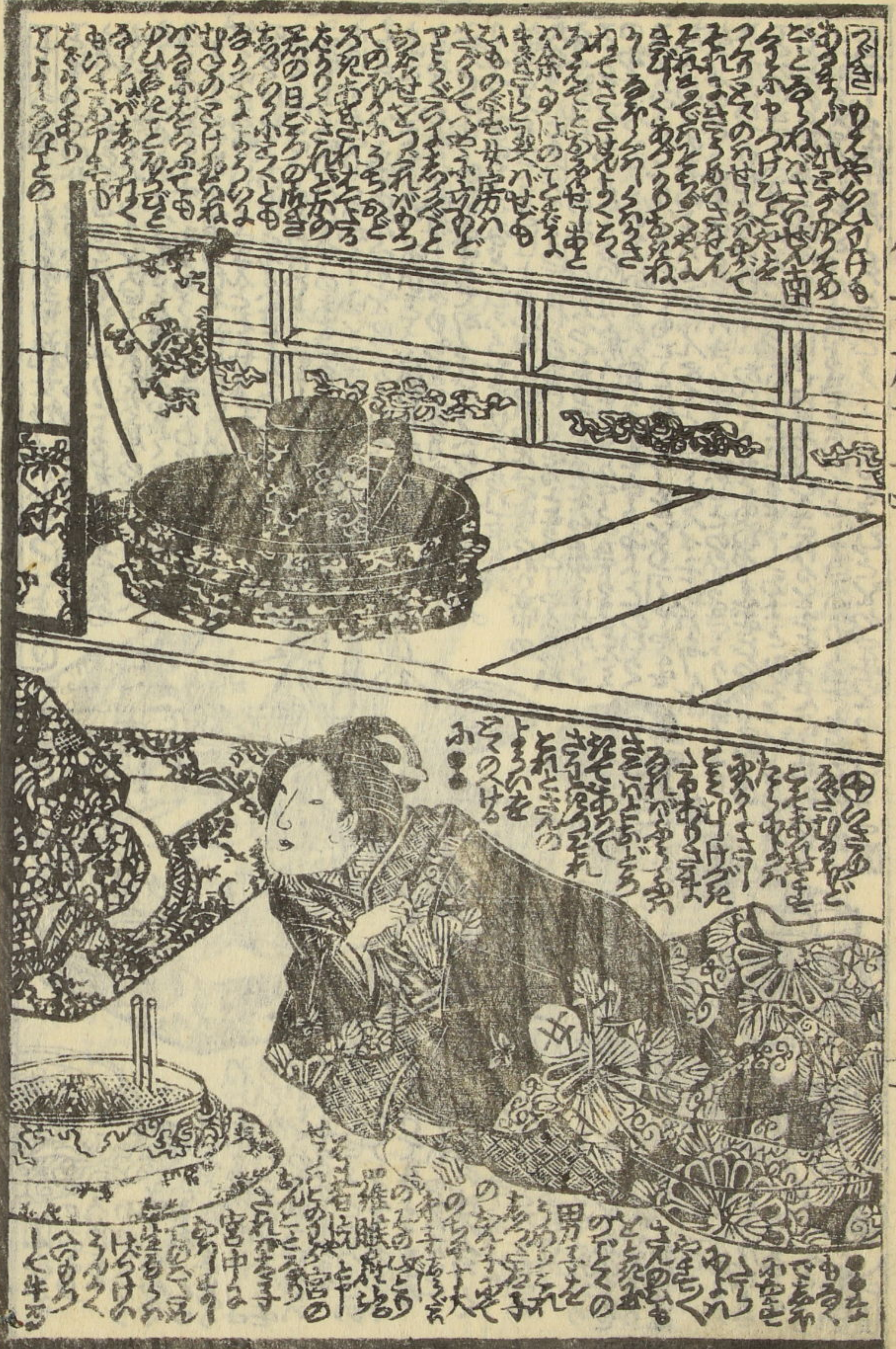
上州屋版





大正十一年十一月

十一

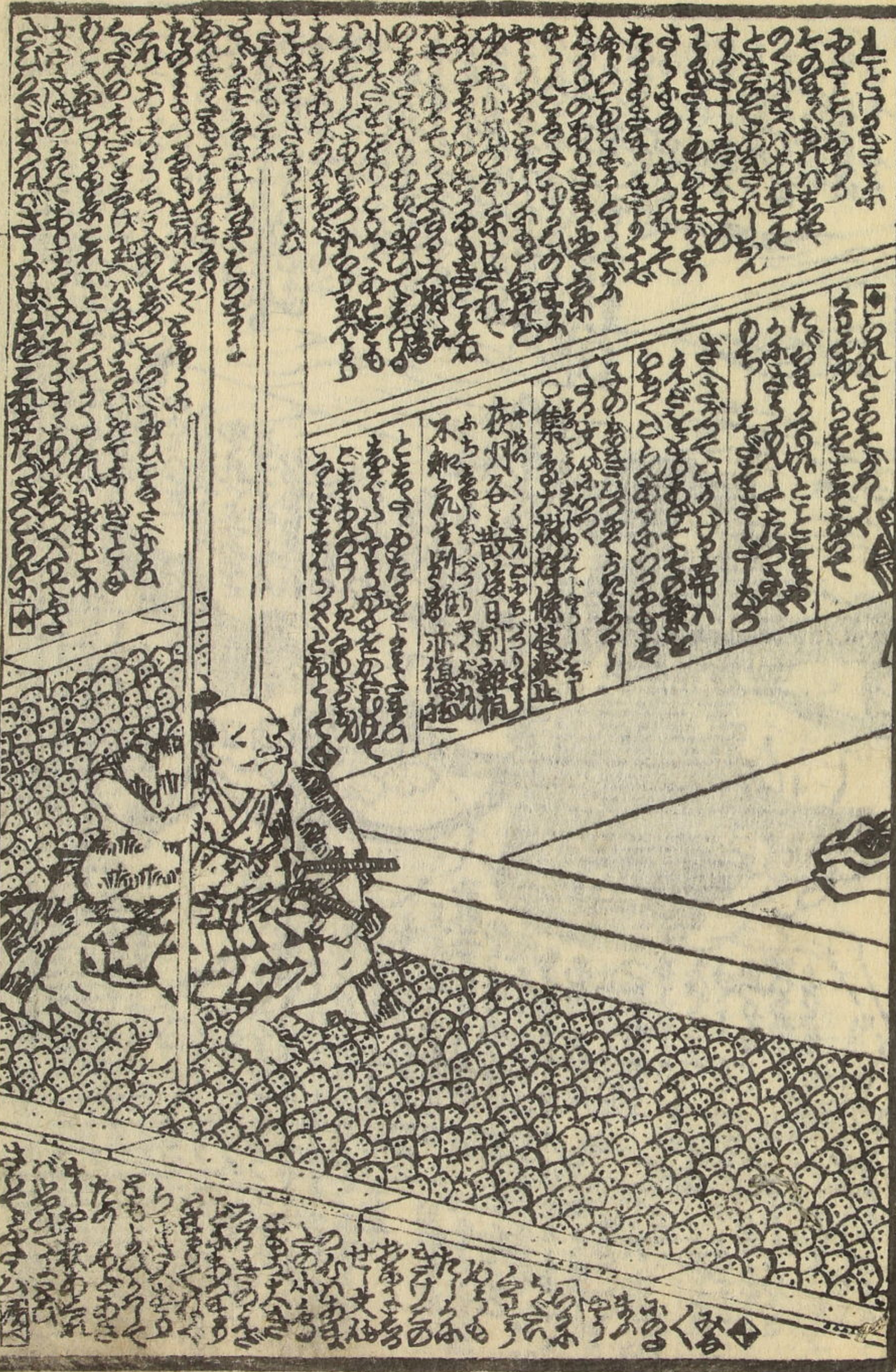


大正十一年十一月



傳之卷一十一

十一



Vertical columns of handwritten Japanese text in the upper left section of the page.

Vertical columns of handwritten Japanese text in the middle section of the page.

Vertical columns of handwritten Japanese text at the bottom of the page.



Vertical columns of handwritten Japanese text in the upper right section of the page.

Vertical columns of handwritten Japanese text at the bottom of the page.



御膳

十五

帝の... 南花... 南花... 南花...



た... の... 南花... 南花... 南花...

巻之二

南花... 南花... 南花... 南花...



た... の... 南花... 南花... 南花...

巻之三

つぎのあつきのあつきの
かまひのあつきのあつきの
あつきのあつきのあつきの



あつきのあつきのあつきの
あつきのあつきのあつきの
あつきのあつきのあつきの

あつきのあつきのあつきの
あつきのあつきのあつきの
あつきのあつきのあつきの

あつきのあつきのあつきの
あつきのあつきのあつきの
あつきのあつきのあつきの

あつきのあつきのあつきの
あつきのあつきのあつきの
あつきのあつきのあつきの



あつきのあつきのあつきの
あつきのあつきのあつきの
あつきのあつきのあつきの





